

職業人講演会2010 「みんなで話そう -看護の仕事-」

5月12日は「看護の日」 訪問看護師として活躍されている渡部光恵先生(訪問看護ステーション半田)を講師に招いて、職業人としての心構えやいのちの大切さ、看護師の仕事の喜び、生き甲斐などについてお話していただきました。聴診器を使った看護体験もしました。

◆日時:平成22年5月12日(水)15時50分から16時50分

◆場所:被服教室

◆参加生徒:4年12名 5年11名 6年生17名 合計40名



(参加生徒の感想)

- ◆「患者さんが元気になってくれるのがうれしい」この言葉が印象に残っています。看護師になりたいという思いが強くなりました。(4年女子)
- ◆看護師さんにもいくつかの仕事があることがわかりました。(4年女子)
- ◆患者さんとコミュニケーションをとるのが難しいのだと思いました。(5年女子)
- ◆病気と闘う患者さん、命が誕生する瞬間に立ち会う、励ましや勇気づけで患者さんを救うことのできる看護師の仕事がよく理解できました。(4年男子)
- ◆家族を支えながらともにリハビリをして手足が少しずつ動かせるようになった話を聞き、訪問看護師は患者さんだけでなく家庭の人も支えられる仕事だと知りました。(6年女子)
- ◆看護師の仕事を知り、私も人のために尽くし「ありがとう」と声をかけられる仕事に就きたいと思いました。(5年女子)
- ◆看護師さん、助産師さん、保健師さんなど命に関わる職業について知りやりがいのある仕事だと知りました。(5年男子)